

カナダのコープ住宅発展の歴史と現状から学ぶ 10万戸を達成した市民力と制度の現地取材を通じて

日時 2006年2月15日(水) 午後1時30分～午後4時30分
会場 住宅金融公庫本店1階 すまい・るホール
主催 NPO 法人 全国コープ住宅推進協議会
定員 200名 (申込先着順受付)
参加費 入場無料 (資料集は別途 1500円)

カナダのコープ住宅の歴史は比較的新しく約40年前にスタートしている。カナダは人種のモザイクと呼ばれるように、多種の人々が交じり合って暮らしており、低所得層も多い。公営住宅のコミュニティの悪化や、質の悪い借家に対する対策として取り上げられたのがコープ方式で、1973年に制度が生まれ、公的な支援が始まった。市民が自主的に集まり、自主性・参加性が強いことは日本のコープ住宅に似ている。しかし、カナダの住宅建設組合は法人格を持ち、融資を受けて住宅を建設し、不動産を所有する。入居者は組合員として全体の所有者、運営者であるが、各自の住戸については所有権ではなく居住権を持っている。これは、所有と賃借の間の中間的な権利と考えることができる。住宅組合は15%以上の低所得者を含むことが義務付けられている。低所得者の住居費は応能でよく、他の中高所得者がその低所得者の不足分をおぎなう仕組みになっている。

1979年に当協議会はカナダのコープ住宅の視察を行ったが、多種の人々が仲良く楽しく暮らしているのに感銘を受けた。その後、政策的にもいろいろな変化があったようであるが、今日までに10万戸のコープ住宅が建てられたそうである。昨年秋に千葉大の小林教授が現地を訪れ、コープ住宅、コウハウジングの撮影、ヒヤリング、調査等をされたので、今回のフォーラムでは映像も含めて報告をお願いした。また、後半は、米国のコープ住宅制度に詳しい放送大学講師(住宅金融公庫調査役)の竹井隆人氏と小林氏で両国のコープ住宅制度の違いや現状の評価、日本における制度の可能性などについて対談をします。是非ご参加ください。

プログラム

13:00	開場		
13:30	開演		
13:40	報告	コープ住宅の全国動向	(NPO 全国コープ住宅推進協議会) (NPO コープ住宅推進協議会関西)
14:00	基調講演	カナダのコープ住宅の発展の歴史、制度、現状、事例	小林秀樹(千葉大学教授)
15:30	対談	米国とカナダのコープ住宅制度について	竹井隆人(放送大学/住宅金融公庫) 小林秀樹(千葉大学教授)
16:30	閉会		

フォーラム参加お申し込み方法

裏面のFAXまたはe-mailで、NPO全国コープ住宅推進協議会「フォーラム2006係」まで、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、FAX番号をお知らせ下さい。

お申し FAX 03-3490-1429

込み先 e-mail coopkyo@t02.itscom.net

特定非営利活動法人

全国コープ住宅推進協議会

問合せ先 03-3490-1257

会場案内図



フォーラム2006係 御中

全国コープ住宅フォーラム2006(2/15)
カナダのコープ住宅発展の歴史と現状から学ぶ

参加申込書

申込日 平成 年 月 日

フリガナ			
お名前	他 名		
フリガナ			
所属法人 団体名			
住 所 1.所属先 2.自宅	〒		
お電話		FAX	
年 齢	歳	ご職業	

申込方法

参加を希望される方は、本用紙に必要事項を記入してFAXまたはe-mailでお送りください。

送信先 FAX 03-3490-1429

送信先 e-mail coopkyo@t02.itscom.net